

事業番号 2022 - 官房 - 新23 - 0052

令和4年度行政事業レビューシート (内閣官房)

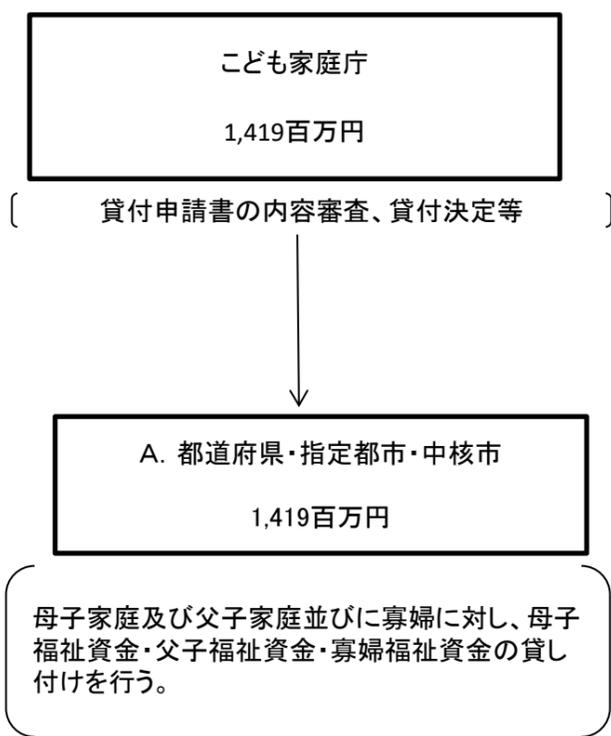
事業名	母子父子寡婦福祉貸付金			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者			
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	こども家庭庁設立準備室(福祉・保健政策担当)		参事官 山口 正行			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	母子及び父子並びに寡婦福祉法第13条、第32条及び第37条			関係する 計画、通知等	・母子家庭等及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本的な方針(令和2年3月23日厚生労働省告示第417号) ・子供の貧困対策に関する大綱(令和元年11月29日閣議決定)					
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、少子化社会対策			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてこれらの児童等の福祉を増進することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県・指定都市・中核市が、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対し、生活に必要な資金やその子の修学に必要な資金等について貸付けを行うため、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定により、都道府県・指定都市・中核市が行う資金の貸付けに必要な原資を国が貸し付けるものである。 ・貸付先:都道府県・指定都市・中核市 ・貸付率:2/3									
実施方法	貸付									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	1,419			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	1,419			
	執行額		0	0	0					
執行率(%)		-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	母子父子寡婦福祉貸付金	-	1,419							
	計	-	1,419							
活動内容 (アクティビティ)	都道府県・指定都市・中核市が、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対し、生活に必要な資金やその子の修学に必要な資金等について貸付けを行うため、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定により、都道府県・指定都市・中核市が行う資金の貸付けに必要な原資を国が貸し付けるものである。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図る	自治体から母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対する貸付件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	24,193	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(X) / 貸付件数(Y)			単位当たり コスト	円	-	-	-	-	
				計算式	X/Y	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	貸付件数等と母子家庭等の自立や児童等の福祉の増進の状況を数値的に関連づけることは不可能であるため、目標値の設定は困難である。			母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてこれらの児童等の福祉を増進することを目標とする。平成元年度～令和3年度においては、母子家庭等に対し、各自治体において委嘱された母子・父子自立支援員等を通じて貸付制度を周知し、普及推進に努めた。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		母子福祉資金貸付金における現年度償還率の向上	償還率	実績	%	-	-	-	-	-
				目標値	%	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		父子福祉資金貸付金における現年度償還率の向上	償還率	実績	%	-	-	-	-	-
				目標値	%	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		寡婦福祉資金貸付金における現年度償還率の向上	償還率	実績	%	-	-	-	-	-
				目標値	%	-	-	-	-	-
達成度				%	-	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	こども・子育て支援の推進							
		施策	ひとり親家庭等への支援に関する施策の推進	政策評価書 URL	-	該当箇所	-			
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	分野:	-	-	-	-	-	-	-	
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-	-	-	-	-	-	
		該当箇所	-	-	-	-	-	-		
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてこれらの児童等の福祉を増進することを目的とした事業であり、広く国民のニーズがあり、社会のニーズを反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	母子家庭等の置かれている社会的、経済的な事情を考慮すると、一般家庭と同様の保護では母子等の福祉の増進を図ることは難しいため、法律により国が地方自治体に貸し付けることとしている。					
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図るために必要であり、児童等の福祉の増進という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。					
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-						
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							

	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-	-
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-	-
	事業番号		事業名			
					-	
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度	-					
平成24年度	-					
平成25年度	-					
平成26年度	-					
平成27年度	-					
平成28年度	-					
平成29年度	-					
平成30年度	-					
令和元年度						
令和2年度						
令和3年度						

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかにつ
 いて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0